

2学年通信

新宮町立新宮東中学校
令和7年11月20日 第67号
文責:江頭 俊輔

[2025年最後の定期考査が終わりました！何事も終わったあとが大切です。]

11月6日、7日の日程で、2学期期末考査が終わりました。たくさん勉強して臨んだ分、清々しい気持ちの人もいれば、なかなか学習に集中できなくて、結果が返ってくるのが怖かった人もいると思います。

大切なのは、「終わったからといって、学習を投げ出さない（学習から逃げない）こと」です。日常の学習習慣を身に付けることこそ、中学時代に取り組まなければならない最優先事項です。是非、ペンを片手に家庭学習に挑みましょう。スマホやゲームもいいですが、この時期に頑張っていればいるほど、来年の今頃は穏やかな気持ちで過ごすことができるはずです。「今ならまだ間に合います！」自分から学習に取り組む習慣を身に付けましょう。

[【保護者の皆様へ】家庭学習強化週間のアンケートへのご協力をお願いします。]

学年通信第64号でもお伝えしていましたが、2学期期末考査のテスト期間に、学校では家庭学習強化週間と題して、スケジュールノートを通じて、ご家庭と学校が連携して生徒の学習を支える取組を実施していました。次年度の取組につなげるために、次のQRコードからアンケートへのご協力をお願いします。

[11月26日（水）にそぴあしんぐうで、福祉体験があります！]

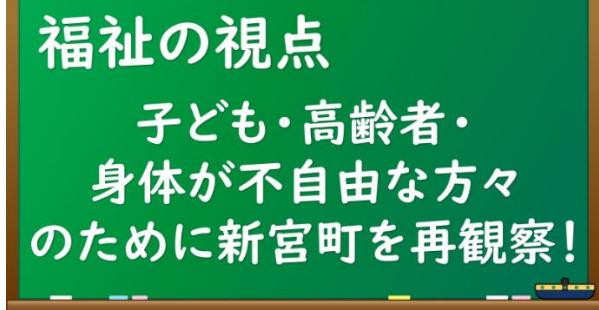


さて、11月26日（水）にはそぴあしんぐうにて福祉体験を計画しています。今回はたくさんの方に協力していただいて、福祉についての学習を進める予定です。携わってくださるGTさんにとてもみなさんと学ぶことにより素敵な福祉学習だったと感じていただきたいと思っています。（そのために、テスト期間に福祉についての学年通信を連投していました。）※当日は15:30にそぴあしんぐうで解散予定です。

福祉は広義に捉えると、警察や消防、学校の運営など、とても身近に感じることができます。社会の変化に伴い、福祉の対象も変化しています。今回の福祉学習では、福祉の視点として「子ども・高齢者・身体が

不自由な方々のために、新宮町を再観察」してほしいと考えています。（左図）

「傾聴ボランティアコース」・「認知症サポーターコース」のみなさんには、正しい知識を身に付け、自分事として、スキルを身に付けてほしいと思います。「地域を知ろうコース」では、自分の行政区を福祉の視点で再観察して、地域の課題や今後取り組んでいくべきことを考えてほしいと思います。



[ひとりじゃ生きられないから、助け合おう。支え合おう。]

人間という言葉は、「人の間（あいだ）」と書きます。人とのつながりがあって、初めて生きていくことができるものが人間です。人間はひとりで生きていくことはできないと私は思います。嬉しいことがあったら、誰かに話したいし、悲しいことは共有するとちょっと心が軽くなります。これはきっと私たちだけじゃないはずです。人生100年時代を自分らしく生きていくためには、助け合い、支え合う「誰か」が必要です。福祉という視点で、「福祉施設を作ろう！」「ここをバリアフリーにしよう！」ということは「行政サービス」で、あたたかいふれあいは「私たちから」。福祉について考えていきましょう。